

科学技術館「クスリウム」に 新たな展示 製薬協

日本製薬工業協会は、科学技術館（東京都千代田区）の常設展示室「く

すりの部屋」クスリウムを改装し、新規の展示物を追加した。3月21日に同館で開いた報道陣向けの発表会で、製薬協の上野裕明会長は「薬の研究開発には長い時間がかかり、次世代へとつなぐ必要がある。まだ治らない病気に対する挑戦の気持ちや、製薬を面白いと

感じるきっかけとなればうれしい」と話した。

新たな展示物として、モニターに映る薬に関連するクイズに答えるアトラクション「マイクロアドベンチャー」を設置。このほか、白衣を着用して

写真を撮影できるコーナーや、新薬ができるまでの道のりが分かる「創薬パズル」も新設した。

また、同月21～23日、薬に関する知識を学ぶ小

学生親子向けの体験型イベント「製薬協クスリウム研究室」も開催し、薬の有効成分を発見する実験ショーを実施した。実験ショーは今後も常設展示室で行われる。

クスリウムは2016年にオープン。常設展示室ではこのほか、薬の歴史や製造方法などについて学べるブースがある。



上野会長らによるテープカット



「マイクロアドベンチャー」